

## § 4.11 3次元座標空間における平面と点との間の距離

**定義** 座標平面  $\mathbf{R}^2$  において、点  $A$  と直線  $L$  との間の距離とは、直線  $L$  に属する点の中で最も点  $A$  に近い点  $P$  と点  $A$  との間の距離である。

次の定理の証明は前節の定理の証明と同様なので省略します。

**定理** 3次元座標空間  $\mathbf{R}^3$  において点  $A$  は直線  $L$  に属さないとする。点  $A$  から直線  $L$  に下ろした垂線の足を  $H$  とおくとき、点  $A$  と直線  $L$  との間の距離は線分  $AH$  の長さ  $\overline{AH}$  である。

次の定理の証明は前節の定理 4.9 の証明と同様です。

**定理 4.11**  $a, b, c, d, x_0, y_0, z_0$  は定数で  $a \neq 0$  または  $b \neq 0$  または  $c \neq 0$  とする。  $xyz$  座標空間において方程式  $ax + by + cz + d = 0$  が表す平面と点  $(x_0, y_0, z_0)$  との間の距離は  $\frac{|ax_0 + by_0 + cz_0 + d|}{\sqrt{a^2 + b^2 + c^2}}$  である。

**証明** 方程式  $ax + by + cz + d = 0$  が表す平面を  $\Pi$  とおく。

点  $(x_0, y_0, z_0)$  が平面  $\Pi$  に属するとき、  $ax_0 + by_0 + cz_0 + d = 0$  なので  $\frac{|ax_0 + by_0 + cz_0 + d|}{\sqrt{a^2 + b^2 + c^2}} = 0$  , 点  $(x_0, y_0, z_0)$  と平面  $\Pi$  との間の距離も 0 である。

点  $P_0 = (x_0, y_0, z_0)$  が平面  $\Pi$  に属さないとする。点  $P_0$  から平面  $\Pi$  に下ろした垂線の足を  $H = (p, q, r)$  とおく。平面  $\Pi$  と点  $P_0$  との間の距離は  $\overline{HP_0}$  である。定理 4.6.7 より方程式  $ax + by + cz + d = 0$  が表す平面  $\Pi$  の法線ベクトル  $(a, b, c)$  と直線  $HP_0$  の方向ベクトル  $\overrightarrow{HP_0}$  とは平行なので、定理 3.5.1 より、

$$|(a, b, c) \cdot \overrightarrow{HP_0}| = |(a, b, c)| \cdot |\overrightarrow{HP_0}| = \sqrt{a^2 + b^2 + c^2} \overline{HP_0} .$$

$P_0 = (x_0, y_0, z_0)$  及び  $H = (p, q, r)$  より  $\overrightarrow{HP_0} = (x_0, y_0, z_0) - (p, q, r)$  なので、

$$\begin{aligned} (a, b, c) \cdot \overrightarrow{HP_0} &= (a, b, c) \cdot \{(x_0, y_0, z_0) - (p, q, r)\} \\ &= (a, b, c) \cdot (x_0, y_0, z_0) - (a, b, c) \cdot (p, q, r) \\ &= ax_0 + by_0 + cz_0 - (ap + bq + cr) . \end{aligned}$$

点  $H = (p, q, r)$  は方程式  $ax + by + cz + d = 0$  が表す平面  $\Pi$  に属するので、 $ap + bq + cr + d = 0$  , よって  $ap + bq + cr = -d$  なので、

$$ax_0 + by_0 + cz_0 - (ap + bq + cr) = ax_0 + by_0 + cz_0 - (-d) = ax_0 + by_0 + cz_0 + d .$$

よって

$$(a, b, c) \cdot \overrightarrow{HP_0} = ax_0 + by_0 + cz_0 + d .$$

$|(a, b, c) \cdot \overrightarrow{HP_0}| = \sqrt{a^2 + b^2 + c^2} \overline{HP_0}$  より  $|ax_0 + by_0 + cz_0 + d| = \sqrt{a^2 + b^2 + c^2} \overline{HP_0}$  なので、  $\overline{HP_0} = \frac{|ax_0 + by_0 + cz_0 + d|}{\sqrt{a^2 + b^2 + c^2}}$  . (証明終り)

**例題**  $xyz$  座標空間において方程式  $4x + 3y - 2z = 9$  が表す平面と点  $(7, -5, 6)$  との間の距離を求めよ。

方程式  $4x + 3y - 2z = 9$  つまり  $4x + 3y - 2z - 9 = 0$  が表す平面と点  $(7, -5, 6)$  との間の距離は

$$\frac{|4 \cdot 7 + 3 \cdot (-5) - 2 \cdot 6 - 9|}{\sqrt{4^2 + 3^2 + (-2)^2}} = \frac{8}{\sqrt{29}} .$$

**問題 4.11.1**  $xyz$  座標空間において方程式  $5x - 4y + 3z = 2$  が表す平面と点  $(8, 7, -6)$  との間の距離を求めなさい。